

申請パターン別 助成上限額と自己負担額 例

1. 急速充電設備を申請する場合：p 2～5
2. 普通充電設備を申請する場合：p 6～9
3. V2H充放電設備を申請する場合：p 10～13

・急速充電設備・普通充電設備等の助成対象設備（リンク先：次世代自動車振興センター）

http://www.cev-pc.or.jp/hojo/juden_pdf/r03/r03_juden_jougen_meigara.pdf

・V2H充放電設備の助成対象設備（リンク先：次世代自動車振興センター）

http://www.cev-pc.or.jp/hojo/pdf/r03/R3_v2h_meigaragotojougen.pdf

※充電インフラ補助金：次世代自動車振興センターの充電インフラ補助金のこと

※V2H補助金：CEV補助金のV2H充放電設備補助金のこと

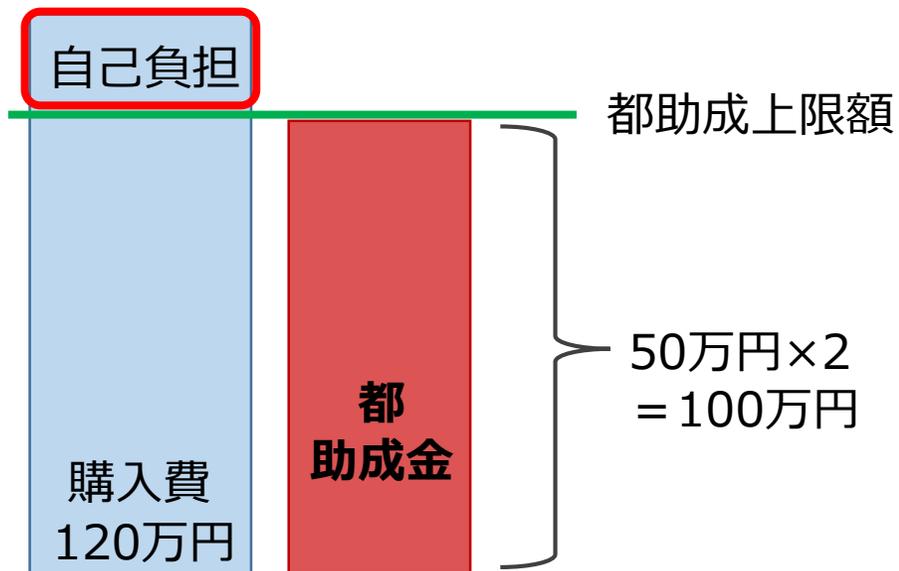
※充電インフラ補助金またはV2H補助金以外の国の補助金を利用される場合は、別途お問合せください。

1 - 1. 急速充電設備を申請（充電設備購入費）

【急速充電設備を120万円（税抜）で購入し、
充電インフラ補助金の交付上限額（目的地）が50万円】

①事前申請の場合（東京都のみ申請）

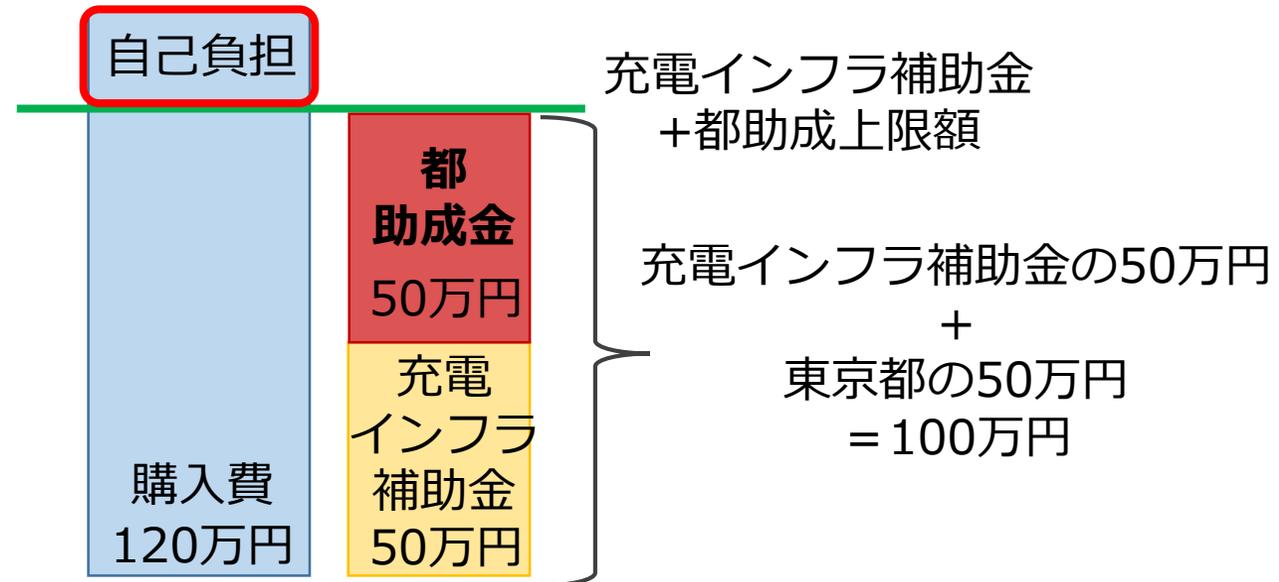
充電インフラ補助金の交付上限額の
2倍の金額が東京都の助成上限額



⇒東京都の購入費の助成金は**100万円**

②事後申請の場合（国と東京都どちらも申請）

充電インフラ補助金の交付上限額と
同じ金額が東京都の助成上限額



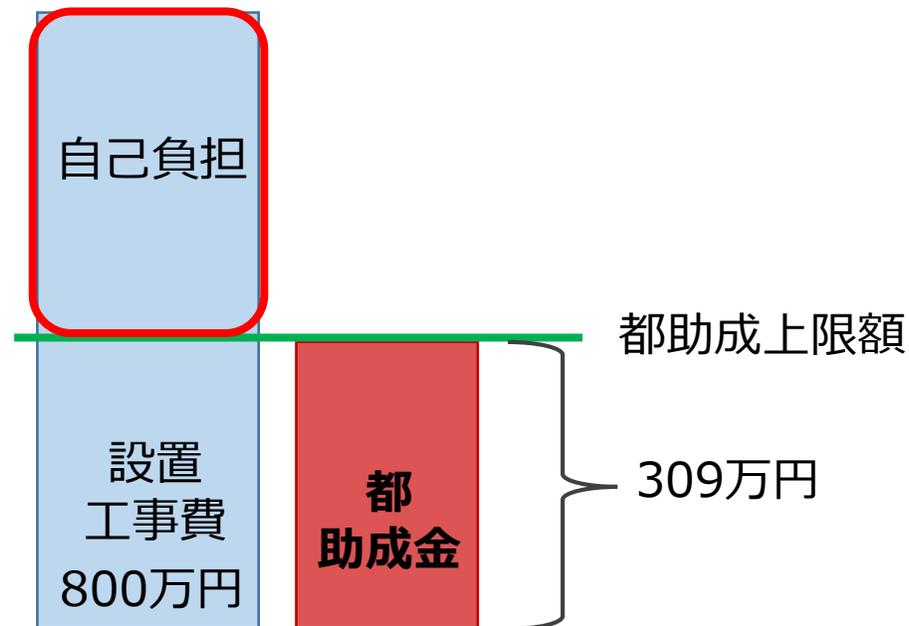
⇒東京都の購入費の助成金は**50万円**

1 - 2. 急速充電設備を申請（設置工事費）

【急速充電設備の設置工事費が800万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

①事前申請の場合（**東京都のみ申請**）

助成対象経費のうち、**309万円まで**が東京都の助成金額



⇒東京都の工事費の助成金は**309万円**

1 - 2. 急速充電設備を申請（設置工事費）

【急速充電設備の設置工事費が800万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から充電インフラ補助金を差し引いた額または309万円

いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース1：

充電インフラ補助金が**350万円**の場合

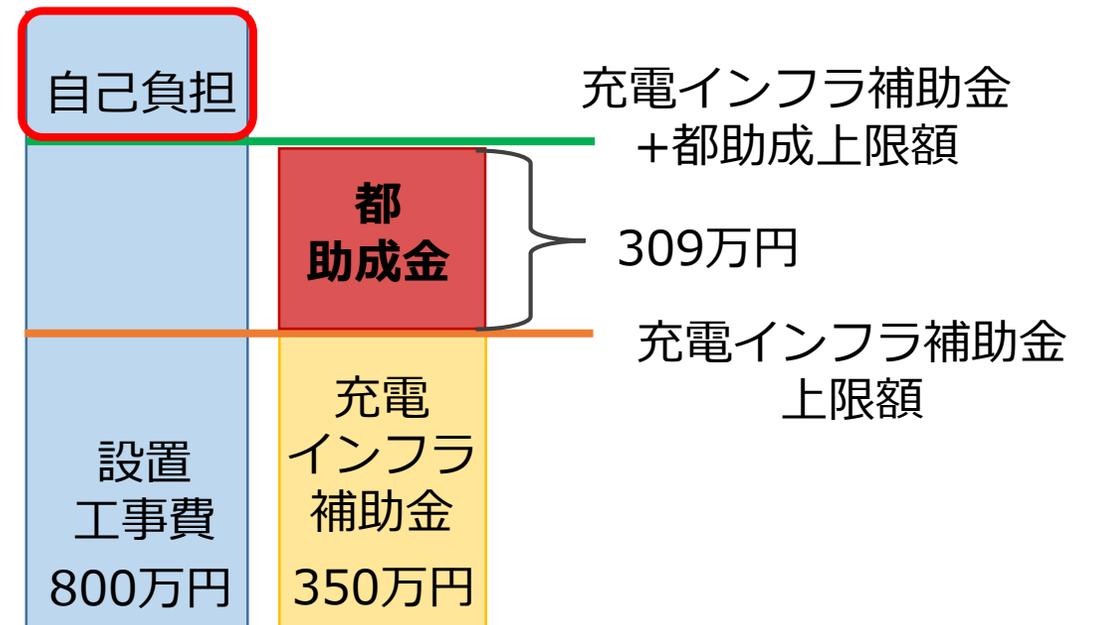
設置工事費から充電インフラ補助金を

差し引いた額

$800\text{万円} - 350\text{万円} = 450\text{万円}$

$309\text{万円} < 450\text{万円}$

⇒東京都の工事費の助成金は**309万円**



1 - 2. 急速充電設備を申請（設置工事費）

【急速充電設備の設置工事費が800万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から充電インフラ補助金を差し引いた額または309万円

いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース2：

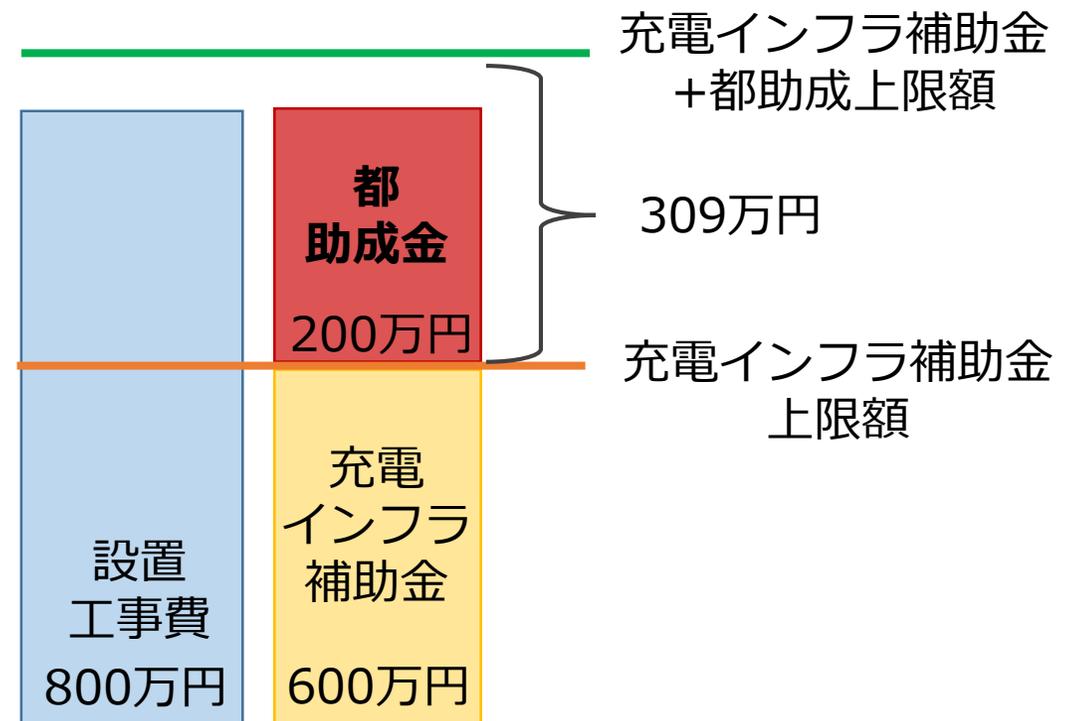
充電インフラ補助金が**600万円**の場合

設置工事費から充電インフラ補助金を
差し引いた額

$800\text{万円} - 600\text{万円} = 200\text{万円}$

$309\text{万円} > 200\text{万円}$

⇒東京都の工事費の助成金は**200万円**

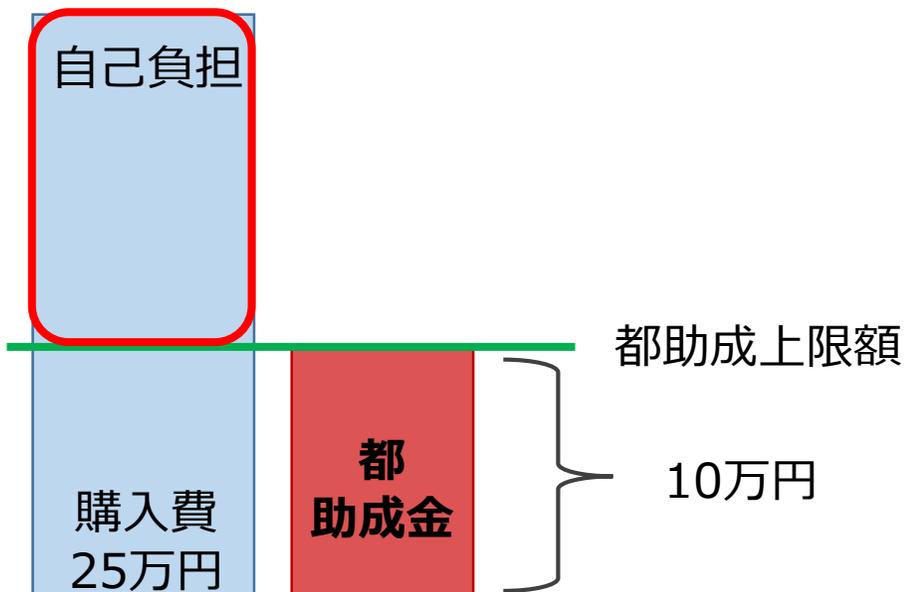


2-1. 普通充電設備を申請（充電設備購入費）

【普通充電設備を25万円（税抜）で購入し、
充電インフラ補助金の交付上限額（基礎）が10万円の場合】

①事前申請の場合（東京都のみ申請）

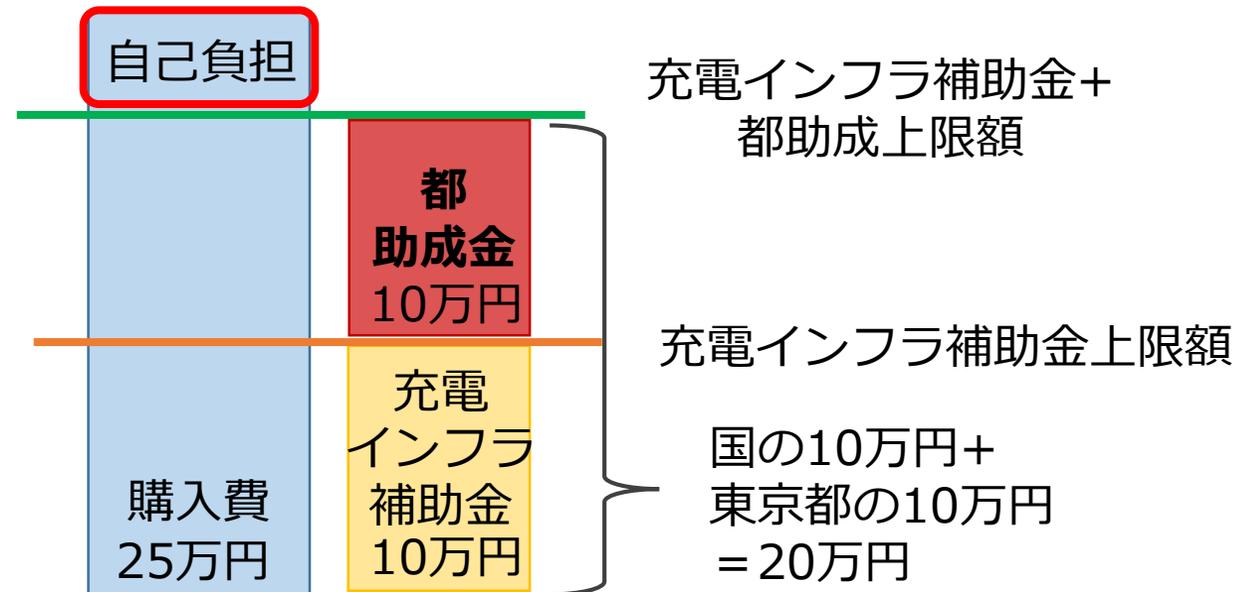
充電インフラ補助金の交付上限額と
同じ金額が東京都の助成上限額



⇒東京都の購入費の助成金は**10万円**

②事後申請の場合（国と東京都どちらも申請）

充電インフラ補助金の交付上限額と
同じ金額が東京都の助成上限額



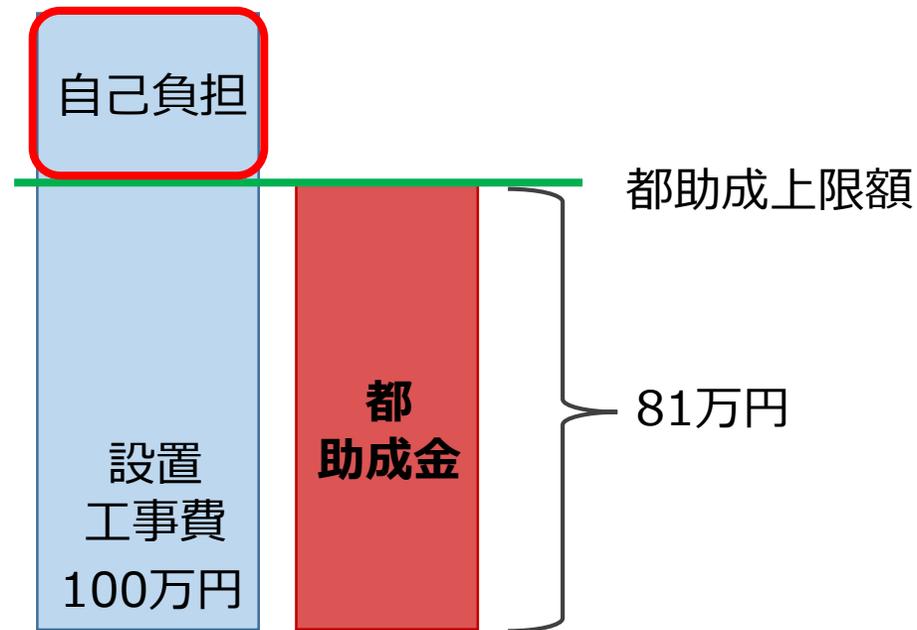
⇒東京都の購入費の助成金は**10万円**

2 - 2. 普通充電設備を申請（設置工事費）

【普通充電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

①事前申請の場合（**東京都のみ申請**）

助成対象経費のうち、**81万円まで**が東京都の助成金額



⇒東京都の工事費の助成金は**81万円**

2-2. 普通充電設備を申請（設置工事費）

【普通充電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から充電インフラ補助金を差し引いた額または

81万円から充電インフラ補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース1：

充電インフラ補助金が**90万円**の場合

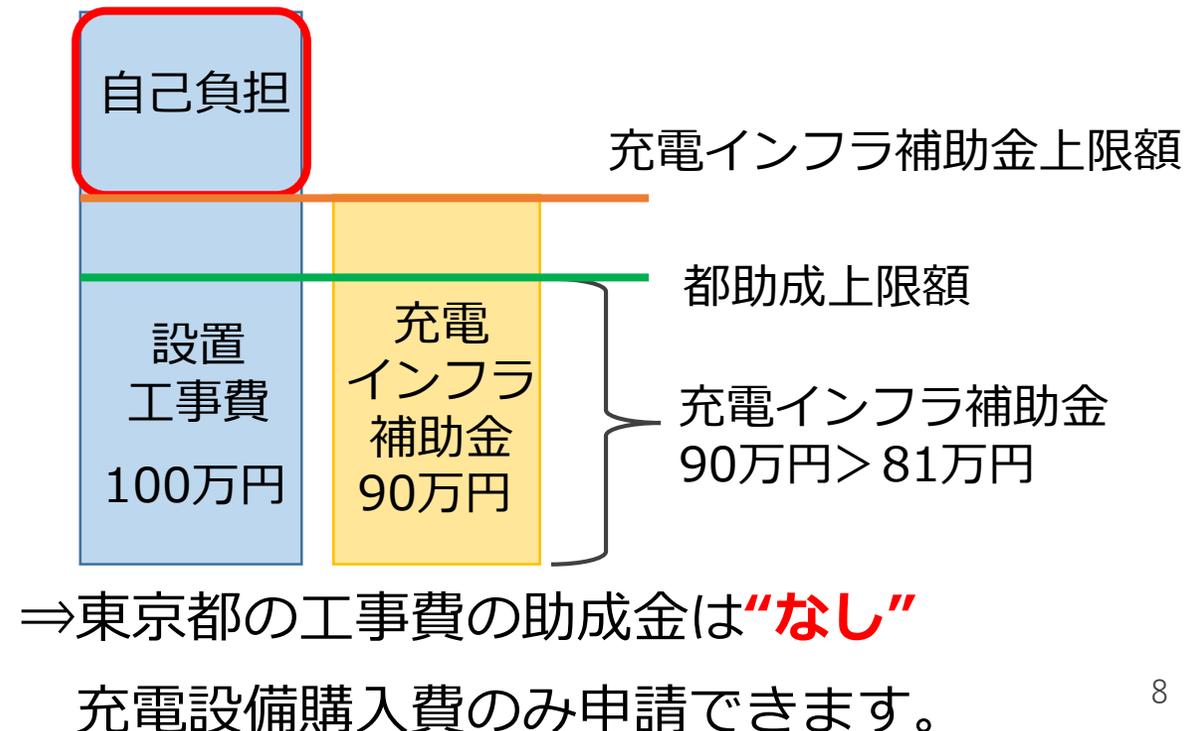
設置工事費から充電インフラ補助金を
差し引いた額

100万円 - 90万円 = 10万円

81万円から充電インフラ補助金を

差し引いた額

81万円 - 90万円 = **-9万円**



2-2. 普通充電設備を申請（設置工事費）

【普通充電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から充電インフラ補助金を差し引いた額または

81万円から充電インフラ補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース2：

充電インフラ補助金が**50万円**の場合

設置工事費から充電インフラ補助金を

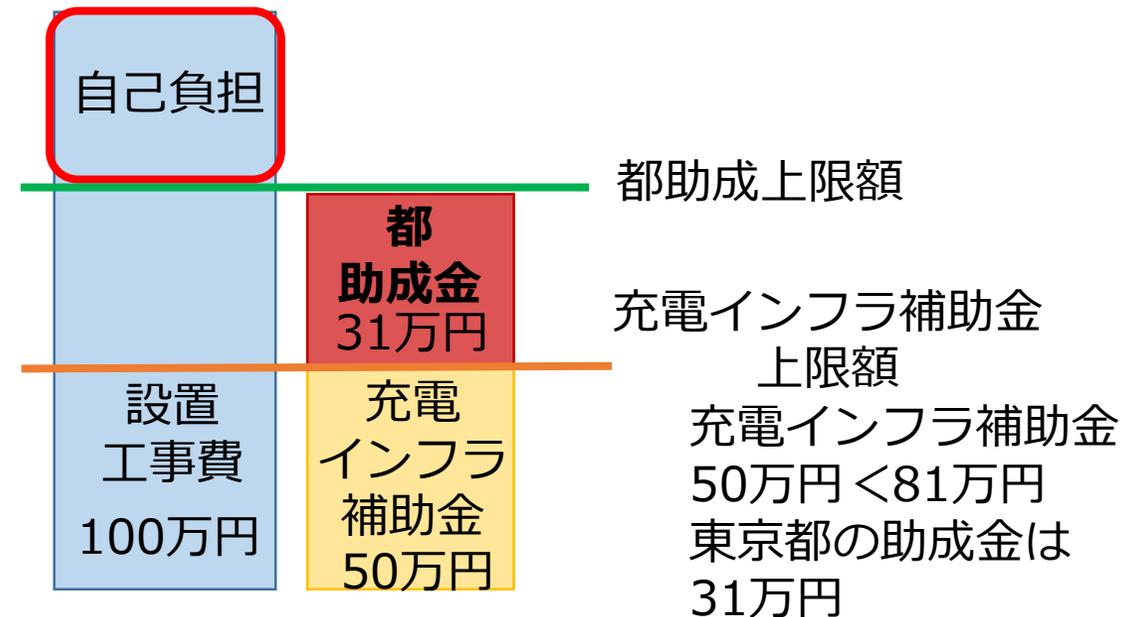
差し引いた額

$100\text{万円} - 50\text{万円} = 50\text{万円}$

81万円から充電インフラ補助金を

差し引いた額

$81\text{万円} - 50\text{万円} = 31\text{万円}$



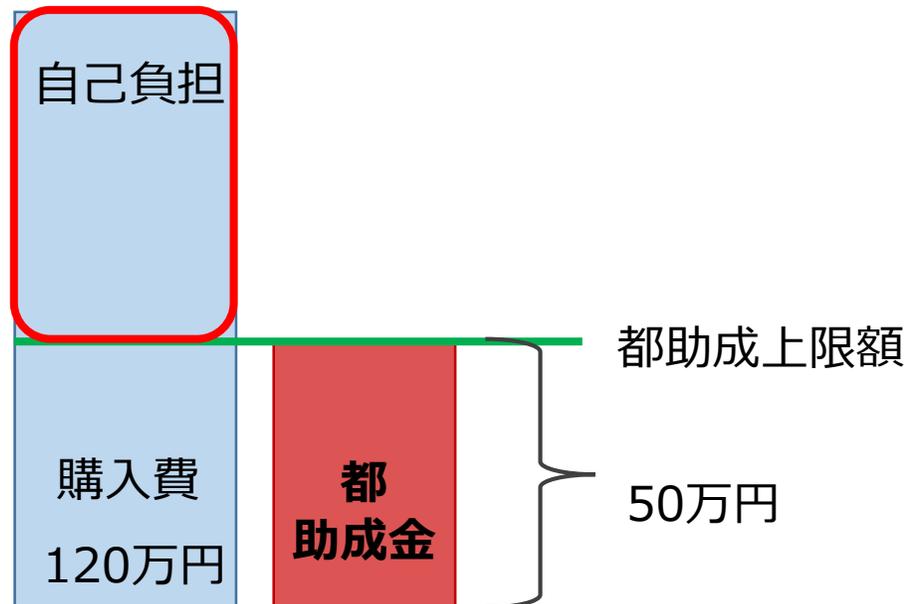
⇒東京都の工事費の助成金は**31万円**

3 - 1. V2H充放電設備を申請（充電設備購入費）

【V2H充放電設備を120万円（税抜）で購入し、V2H補助金の交付額が50万円の場合】

①事前申請の場合（東京都のみ申請）

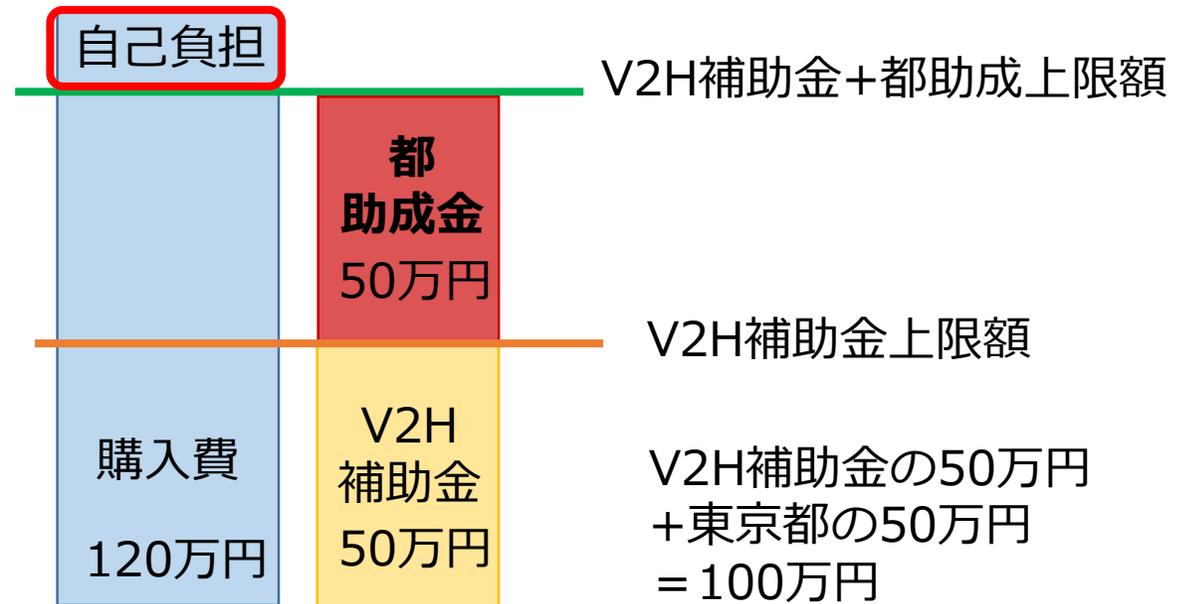
V2H補助金の交付額と同じ金額が
東京都の助成上限額



⇒東京都の購入費の助成金は**50万円**

②事後申請の場合（国と東京都どちらも申請）

V2H補助金の交付額と同じ金額が
東京都の助成上限額



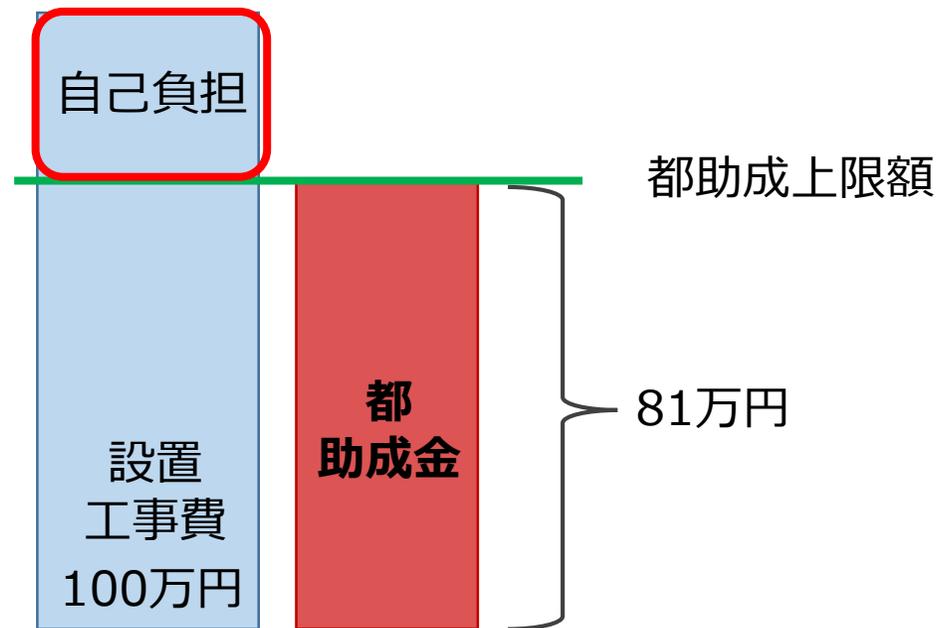
⇒東京都の購入費の助成金は**50万円**

3 - 2. V2H充放電設備を申請（設置工事費）

【V2H充放電充電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

①事前申請の場合（**東京都のみ申請**）

助成対象経費のうち、**81万円まで**が東京都の助成金額



⇒東京都の工事費の助成金は**81万円**

3 - 2. V2H充放電設備を申請（設置工事費）

【V2H充放電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から充電インフラ補助金を差し引いた額または
81万円から充電インフラ補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース1：V2H補助金が**90万円**の場合

設置工事費からV2H補助金を差し引いた額

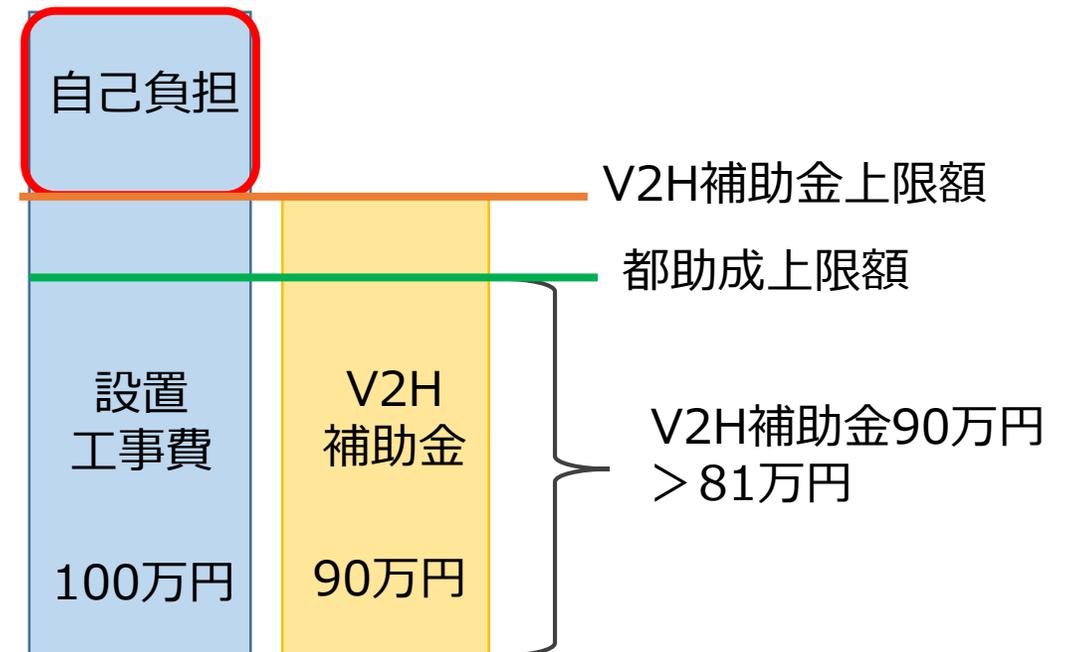
$$100万円 - 90万円 = 10万円$$

81万円からV2H補助金を差し引いた額

$$81万円 - 90万円 = -9万円$$

⇒東京都の工事費の助成金は**“なし”**

充電設備購入費のみ申請できます。



3 - 2. V2H充放電設備を申請（設置工事費）

【V2H充放電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費からV2H補助金を差し引いた額または

81万円からV2H補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース2：V2H補助金が**50万円**の場合

設置工事費からV2H補助金を差し引いた額

100万円 - 50万円 = 50万円

81万円からV2H補助金を差し引いた額

81万円 - 50万円 = **31万円**

⇒東京都の工事費の助成金は**31万円**

